

2月もあと少しとなりました。2月に行われたいろいろな取り組みの一部を紹介します。

水俣に学ぶ肥後っ子教室

5年生が水俣市を訪れ、水俣病や環境について学びました。真っ青な海と柔らかな風に迎えられ、かつてここで公害が起きていたとは思えないほどの美しい景色でした。地域の皆さんが積み重ねてきた環境を取り戻す努力の大きさを感じました。

語り部さんからの話を子どもたちは真剣に聞き、質問もたくさんしました。「公害がもたらすつらさ」「環境や人とのつながりの大切さ」をしっかり学ぶことができました。海を眺めながらの昼食は、自然の恵みへの感謝を感じるひとときとなりました。



個人情報保護のため、写真は鮮明度を落としています

学校評議員会

学校評議員の方々をお迎えし、授業参観や学校評価アンケート結果をもとに、本校の教育についてご意見をいただきました。

「子どもたちも先生方もよくがんばっている」「もっと楽しく成長できる学校づくりを進めてほしい」など、温かい励ましのお言葉をいただきました。今後の学校運営に生かしていきます。

みんなで考える校則見直し

生活委員会が中心となって、児童から寄せられた校則に関する意見を整理し、代表委員会で話し合いました。その内容をもとに、学校評議員・PTA・教職員が参加する「校則見直し委員会」で協議を深めました。

「昼休みのサッカーは楽しいが、他の遊びの人には危険」という意見に対し、参加者から多くの提案が出され、「ボールやルールを工夫して試行し、結果を見て判断する」ことが決まりました。学校全体で校則について考えるよい機会となりました。

春には後輩が・・・

来年度に入学してくる保育園の子どもたちが清水小を訪れ、1年生との交流会を行いました。

1年生は、自分たちの学校生活を分かりやすく紹介したり、校内を案内したりと、先輩ぶりを発揮していました。「お世話される側」から「お世話する側」へ。とても頼もしく感じられました。



坪井川スポーツフェスティバル

清水小と高平台小の5年生が合同で運動に親しむ活動を行いました。綱引き、リレー、長縄、玉入れを合同チームで楽しみ、競技を通して自然と会話や応援が生まれました。

最後には「またね」と手を振り合う姿も見られ、スポーツを通じた温かい交流の時間となりました。



歌でよみがえる思い出

清水小は月ごとに歌を決め、全校で歌っています。音楽委員会が歌詞クイズなどを出して1年間の振り返りをしてくれました。「この歌を歌ってた頃、こんなことあった。」歌を通して、1年間のくらしを振り返ることが出来ました。



長縄チャレンジ終了

学級の最高記録を一覧表に記入。「もう少し、いけたかも・・・」学級で声を合わせ、力を合わせてがんばる姿。すばらしかったですよ。

